

コード	401040503
記入日:	H22.6.11

課コード	116
課名	水産課
課長名	太田均
担当者	古木文雄

事務事業事後評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	貯水庫改修事業費補助事業
----------	--------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 21 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6		
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3		
基本事業コード	40104	基本事業名称	漁業経営近代化の推進	目コード	2		
事務事業コード	4010405	事務事業名称	新世紀水産業育成事業補助金費	細目コード	845		
関連計画			法令・条例規則等	新上五島町水産業振興奨励事業補助金交付要綱			

計画(PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	漁協	(対象指標1)	1漁協			
(対象2)	組合員	(対象指標2)	64名			
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	飯ノ瀬戸漁協にある製水施設の中の貯水庫を改修する事業補助	*****	*****	*****	補助金交付件数1件÷補助金交付件数1件	*****
		①	補助金交付件数	1件	100%	平成21年度
		(達成率分析)	貯水庫の改修を確認し、額の確定を行った。			
		*****	*****	*****	*****	*****
		②	(達成率分析)			
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
	漁獲物の鮮度保持のための水を安定的に供給する。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	1式÷1式	*****
		①	貯水庫改修	1式	100%	平成21年度
		(達成率分析)	計画どおり製水庫の改修が完了した。			
		*****	*****	*****	*****	*****
		②	(達成率分析)			

実施(DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 21 ~ H 21		平成20年度以前	平成21年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	①	件	1.0	1.0		1.0
	②					
成果指標	①	式	1.0	1.0		1.0
	②					
総事業費C (A+B)		千円	1,450	950	1,450	950
直接事業費 A		千円	750	250	750	250
人件費 B		千円	700	700	700	700
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円				
	その他	千円	750	250	750	250
一般財源		千円	700	700	700	700

評価(CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 漁業協同組合が事業主体となる施設整備であることから、組合員に対する利便性の向上につながるため、必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 漁獲物の流通体制を確保するためにも貯水庫の改修は必要があった。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由 漁獲物の流通体制を構築するために目的は適正である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由 貯水庫の改修により、水が安定供給できるようになり、漁獲物の鮮度保持が向上した。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 効果を最大限に発揮するため、必要最大限の規模とした。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 漁獲物の鮮度保持に影響し、魚価安につながる可能性がある。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 類似事業が無いため
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 必要最低限の事業費としており、削減は出来ない。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 事業実施のための必要最低限の人員であり、削減は出来ない。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由 補助要綱に沿った適正な負担をしている。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点 現在のところ、計画を見直す必要は無い。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 なし
2次評価	漁協の運営に資する事業で水産業の振興を図るもの。引き続き漁協に対する補助については、十分協議の上適正に執行すること。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。